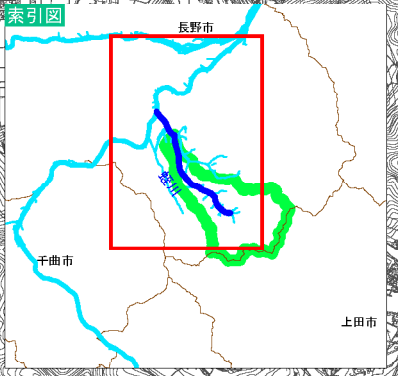
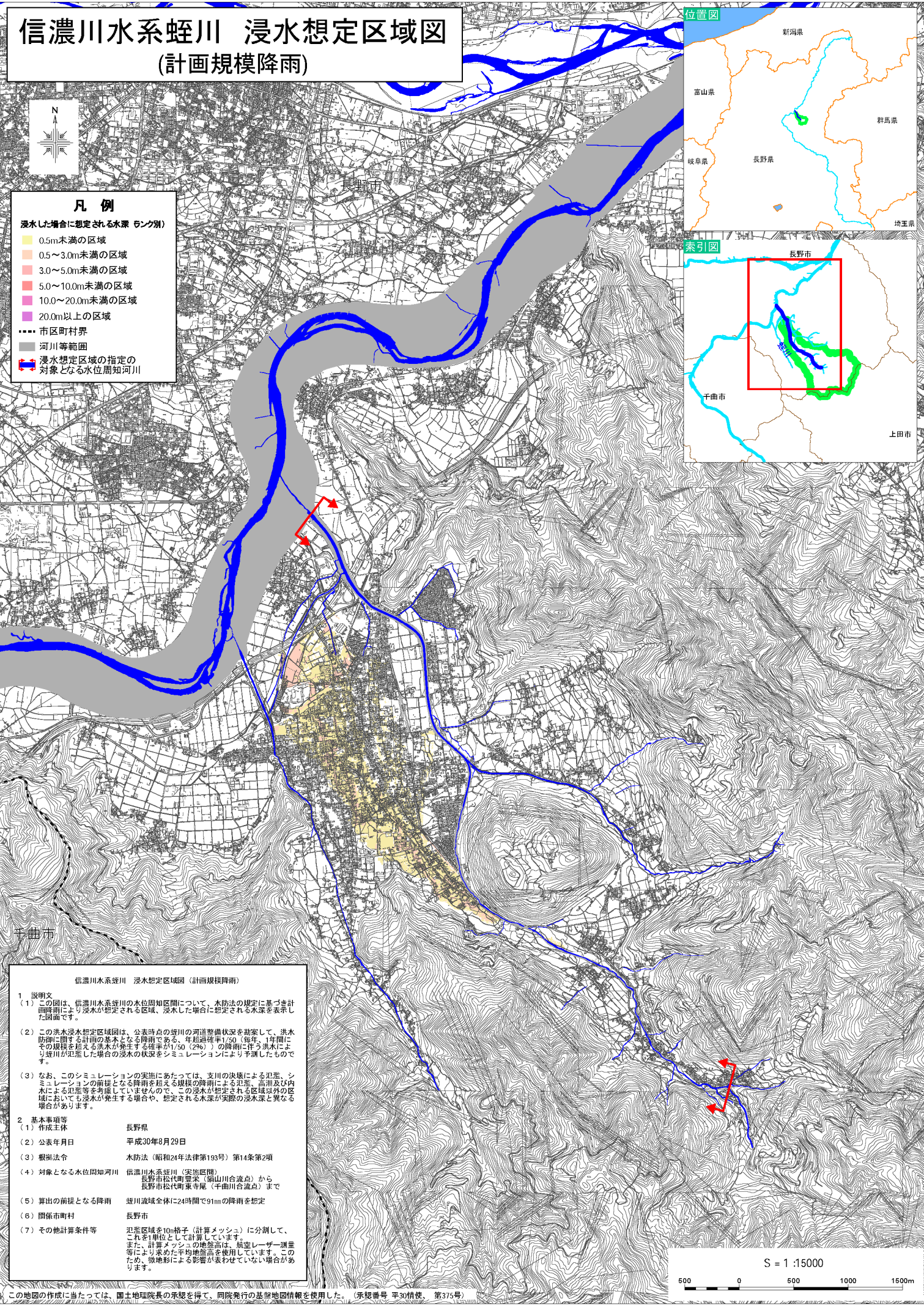


# 信濃川水系蛭川 浸水想定区域図 (計画規模降雨)



- 凡例**  
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)
- 0.5m未満の区域
  - 0.5～3.0m未満の区域
  - 3.0～5.0m未満の区域
  - 5.0～10.0m未満の区域
  - 10.0～20.0m未満の区域
  - 20.0m以上の区域
  - 市区町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



信濃川水系蛭川 浸水想定区域図 (計画規模降雨)

**1 説明文**

(1) この図は、信濃川水系蛭川の水位周知区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の蛭川の河道整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である、年超過確率1/50 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50 (2%) ) の降雨に伴う洪水により蛭川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2 基本事項等**

(1) 作成主体 長野県

(2) 公表年月日 平成30年8月29日

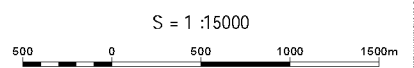
(3) 根拠法令 水防法 (昭和24年法律第193号) 第14条第2項

(4) 対象となる水位周知河川 信濃川水系蛭川 (完流区間)  
長野市松代町雲采 (蛭山川合流点) から  
長野市松代町東寺尾 (千曲川合流点) まで

(5) 算出の前提となる降雨 蛭川流域全体に24時間で91mmの降雨を想定

(6) 関係市町村 長野市

(7) その他計算条件等 氾濫区域を10m格子 (計算メッシュ) に分割して、これを1単位として計算しています。  
また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表れていない場合があります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第375号)